

# 図書館だより

名寄市立大学  
2010.2.5  
No.5

## 巻頭言



学部長 八幡 剛浩

私はこれ迄3度大学・学科の草創期に立ち会う機会を貰いました。最初は大学院を出て初めて勤めた新設の旭川医大です。赴任当時の旭川医大は荒野に建物を順次建築中で、本格的な図書館は未だ出来て居ませんでした。そこで、文献を探す為に2ヶ月に一度位北大医学部の図書館に出かけました。新着のジャーナルからコピーした論文で膨らんだ鞆を抱えて夜汽車に飛び乗り、文献を読みながら帰ったのが昨日の事の様に思い起こされます。

2度目は市立名寄短期大学に新設された看護学科に呼んで貰った時、そして3度目が今回の名寄市立大学の立ち上げです。草創期は、学年進行に合わせながら大学を完成させて行く、いわば走りながら考える状況にありますから、特に1期生の諸君にはいろいろ苦勞をかけて来ました。しかし、いずれの場合にも“自分達で伝統を作るんだ！”という熱意にあふれた学生諸君・教職員の皆さんと巡り会え、一緒に大学の完成に向かえたことは大変嬉しいことでした。この3度の経験は私の宝です。学生諸君にとっても草創期の苦勞を乗り越えて共に大学を作った事は大きな財産となるものと信じています。

この3月には保健福祉学部の1期生、短期大学部となって最初に入学した諸君が世に羽ばたきます。大学としては、入学から卒業迄の1サイクルを検証し、問題点を改善して更に良い教育を進めて行かねばなりません。学生諸君は可能性を秘めた原石として本学に入学してくれています。我々教職員の仕事はその原石を光り輝かせることですが、我々に出来るのはどの様にすれば輝くか、その道筋・方法を示す事のみなのです。実際にカットし、磨いて光り輝かせるのは諸君自身です。卒業する諸君は今やっと光り始めた所です。これまで学んだことをベースに自己研鑽を続け、それぞれの場で本物の輝きを発揮している姿を後に続く者に見せてくれる様をお願いします。



# 雑 誌 案 内

今回は **児童系** の雑誌を紹介します。実践ですぐに役立つアイデアや、子どもの現状が見えてくるかも。かわいい絵に癒されることもあるでしょうし、将来を考える時の参考になることもあるでしょう。普段から目を通しておくことで、「この記事はどの雑誌に???'と慌てる事もなくなるはずですよ。

## ★実習・現場ですぐに使える!

『ピコロ』『ポット』

『3・4・5歳児の保育』～ 心豊かに楽しく。季節や行事に合わせた壁面・グッズの制作アイデア満載。指導計画も充実。



## ★現代の保育の問題を探る!

『現代と保育』『保育問題研究』～ 保育者の実践・父母の立場・研究者の視点、現代の子ども達をとりまくさまざまな問題を考える。

## ★保育者と父母を結ぶ!

『ちいさいなかま』『エデューカーレ』～ 保育園・幼稚園のさまざまな話題。読者の声も豊富に掲載。

## ★主に小学生!

『教育』『子どものしあわせ』～ 教育の知恵と良心を結集。

『子どものしあわせ』には塚本先生の「コルチャック先生と子どもの権利」連載中。



## ★主に家庭での育児!

『月刊クーヨン』～ 子どもの育ちをゆっくり見つめるオーガニックな暮らし方を提案。

## ★特別な支援や心の問題を考える!

『児童養護』『そだちの科学』～ 専門的かつわかりやすい実践的知識や経験が豊富。



そのほか、子どもの読書・文化を中心にした『**子どもと読書**』、子ども達の発達と人間自身の発達を深く追求する『**発達**』、子ども関連の新聞記事を集めた『**切抜き速報・保育と幼児教育版**』などがあります。

バックナンバーも充実していますので、どうぞご利用ください！  
保育者として働き始めたときにも、ちょっとした記事やエッセイにヒントを得たり、心が和んだりすることもあるはず。雑誌も皆さんを応援していますよ。

# 私の図書館活用法

これから卒業研究に取り組む後輩の皆さんにアドバイスをいただきました。

「良い論文を書くために一学問を楽しむ場としての図書館」

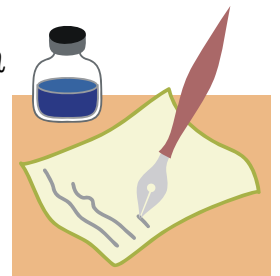
社会福祉学科 4年 佐藤 昭洋

大学の図書館の利用価値は何かと問われれば、私は、自己が学問と巡りあうことを体験できる場所の一つと答えるであろう。なぜ、学問と巡りあうことが利用価値に繋がるのか。それは、私達が大学という場所で、大学生という身分で、大学生生活の集大成として卒業研究という学問的知識・思考を用いずにはいられない事に挑戦する（している）からである。

卒業研究が学問的知識・思考を必要とするならば、専門書・研究書、原著（洋書含む）等を読む日々が自ずと訪れるであろう。これらの本が最初は「難しい」、「わからない」と感じるかもしれない。だが、触れてみる、読んでみるという一歩が新たな本との出会いを生み、その後の研究を進める道標を示してくれることを忘れてはならない。

さて、私が卒業研究を遂げられているのも、本大学の図書館職員の方々のご協力なくして語ることはできない。図書館は様々な機能を備えている。例えば、職員の方に申請をすることで、他大学、機関等から本の取り寄せ、論文の複写等ができる。私の研究テーマが歴史であるが故に、100年以上前の資料を取り寄せることがあった。その時も、職員の方に親身に相談に乗っていただき、より効率よく資料の蒐集をすることができた。つまり、機能を適切に使用することにより、良い論文への道程はさらに近くなる。

最後に、この拙文を読んで、今後の大学生活に生かすことができたならこれ幸いである。そして、卒業研究を通じて得た価値は、生涯において失われることはない証となる。従って、良い論文を書きたいのであれば、図書館に通うべきであろう。



## 【機関リポジトリ】

大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス。

※) 学術機関リポジトリ構築連携支援事業 (国立情報学研究所) <http://www.nii.ac.jp/irp/about/#3>

レポートや卒業研究などで、文献が必要になった時、どうしています？図書館ガイダンスで案内した、「医中誌」で検索する、「CiNii」でダウンロードする、本学所蔵雑誌から探す、図書館に文献複写依頼する、などなど様々な方法があります。が、実はあなたが探している文献が手軽に、しかも無料で入手できるかもしれません。各大学や、研究機関でオープンアクセス化が進み、YAHOO! や Google で直接論文検索をすると、全文ダウンロードできることが多くなりました。もちろん、プリントアウトも OK。講義のレジュメなどを公開している大学もあります。「学術機関リポジトリ構築連携支援事業」のホームページ内「機関リポジトリ一覧」からアクセスすることもできます。是非、どのような機関で公開しているのか見てみてください。

実際に利用してみると理解しやすいと思うので、次の問題に挑戦してみてください。解答用紙を図書館カウンターに用意します。正解された方には粗品贈呈。 **Let's challenge!!**

【問題】 次の論文は何と言う雑誌に掲載されているでしょうか。[検索方法、雑誌名、巻(号)、ページ、発行年] また、この論文を入手するための方法を答えよ。(複数回答あり)

著者：大見広規，加瀬谷幸子，播本雅津子，メドウズ・マーチン，寺山和幸

論文タイトル：「湿潤療法についての学生・教職員の意識調査」

# お知らせ

後期試験が近づいてきました。皆さん準備は万全ですか？国家試験が終わった人、これからの人、来年の卒業研究の準備に取り掛かる人、実習の準備に取り掛かる人、卒業公演の準備など、それぞれ忙しい季節がやってきました。皆さんのお役に立てるよう、図書館スタッフ一同、日ごろより心がけています。どんな些細なことでもかまいません、気軽に声をかけてくださいね。



## ● 絵本の寄贈

本学短期大学部特任教授あべ弘士先生より絵本、児童書の寄贈がありました。800冊はありそうです。随時登録、開架していきますのでお楽しみに!! あべ先生ありがとうございました。

## ● 試験前特別開館

後期試験前日の **2月11日(木・祝日)** 本館・分館ともに特別開館いたします。

**開館時間 9:00~17:00**

本館が以前より暖かくなり、利用しやすくなりました。(コートを脱いでも大丈夫です) ご来館、お待ちしております。



## ● 蔵書点検のため休館します

**3月2日(火)から5日(金)まで**の4日間、蔵書点検のため本館・

分館とも **休館**いたします。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほど宜しくお願いします。借りておきたい資料、依頼したい文献のある方は、お早めに。返却は返却ボックスをご利用ください。

## ● 長期貸出

後期試験が終わると、春季休業になりますね。図書館の閉館時間は通常 **19時** ですが、**17時** 閉館に変わります。お間違えのないように。また、長期貸出ができますので、実家に帰省する、実習に行くなどで利用する方はカウンターで声をかけてください。

まだ延滞中の資料がある方は、至急返却してください。特に卒業生の皆さん! 引越し荷物の中に図書館の資料は入っていませんか? 返却、心よりお待ちしております。

## —— 編集後記 ——

今年度最後の図書館だよりになりました。寄稿していただいた皆さん、読んでいただいた皆さんありがとうございました。今回の写真は、1月30日大学公園で行われた「スノーラントンの集い」です。幻想的な灯りですね。卒業生の皆さん、名寄の思い出をたくさんもって、強く羽ばたいて下さいね。

写真提供: 写真サークル 3S 鈴木くん (サークルメンバー募集中)

2010年2月5日発行 第5号

名寄市立大学図書館運営・大学広報委員会  
〒096-8641

名寄市西4条北8丁目1  
名寄市立大学図書館

